

氏名： 小風 秀雅 (KOKAZE Hidemasa)
所属： 人間文化創成科学研究科文化科学系
学位： 文学博士 (1995 東京大学)
職名： 教授
専門分野： 日本史学 (日本近代経済史、経済政策史、交通史)、国際日本学
E-mail： kokaze.hidemasa@ocha.ac.jp

◆研究キーワード / Keywords

近代世界システム / 不平等条約 / 産業遺産 / 企業史料 /

◆主要業績

総数 (11) 件

- ・編著「東京女子高等師範学校卒業生を対象としたオーラル・ヒストリー」(『お茶の水史学』51)
- ・単著「明治憲法の制定と勤皇史観の成立」(亜東関係協会『台日学術交流国際会議論文集』)
- ・単著「産業遺産の価値とはなにか」(「足尾における産業遺産の保全と活用に関する研究」)
- ・共著『近代日本の転機』上下 (吉川弘文館)

◆研究内容 / Research Pursuits

1. 19世紀における東アジアの近代化のなかで、日本が国家アイデンティティを確立する契機となった明治憲法の制定とそれともなう勤皇史観の成立について、海外で報告し、比較史的な交流を展開した。
2. 世界遺産の選定にかかわる特別委員会の委員として、また経済産業省の地域活性化に資する近代化産業遺産の活用委員会の委員として、日本各地に残る産業遺産の保存と活用について、現地調査と遺産としての評価に関する指導を行った。

◆教育内容 / Educational Pursuits

国際化の進む現代社会において、日本の社会・文化的メッセージを発信することのできる学生を育成するため、講義、演習を通じて、日本を世界の支店からどのように見ることが必要かを、学生に伝えてきた。

また、IT革命の進展のなかで、歴史研究の方法が大きく変化しているなかで、大学生として、また若手研究者として、歴史を学ぶ必須の基礎とは何か、について、演習などを通じて伝えてきた。

◆研究計画

世界遺産を契機とした産業遺産の再評価が進み始めており、これと連動した歴史学の学際的展開と文化財保護に関する諸研究分野の研究者との共同研究の可能性が現実味を帯びてきた。自治体や関係大学、研究者とのシンポジウムも何度か行われており、今後共同研究グループを組織して、世界に日本の歴史遺産をアピールすることを展望している。

◆メッセージ

世界のなかで、より活動的かつ人間的に生きていくためには、ひとつの立場にとらわれずに、世界を多面的かつ全体的にみることのできる教養と広い視野をもつことが絶対に必要です。

さまざまな文化や歴史、社会をとらわれない目で見、理解し、行動するためには、歴史学の複眼的視点はとも役に立ちます。

大学という自由で活気に満ちた環境のなかで、21世紀を切り開く人材へと自己成長するためにも、ぜひ大学で、新しい歴史学に触れ、感動してほしいと思います。